

第1回 定例会

3月6日から22日までの17日間の日程で開催され、平成30年度各会計予算、平成29年度補正予算、条例の制定等議案37件、意見書案6件を審議しました。一般会計予算は修正可決、炭鉱遺産ガイダンス施設条例は原案否決、他議案についてはすべて原案どおり可決されました。

また、一般質問は13日から2日間行われ、4人の議員が会派諸派を代表して市政執行方針等について質問を行いました。

か
わ
ら
版
N
O
47



20日 市長総括



予算審査特別委員会15日～20日



『カフエ議会(仮称)』開催!



- * 各議員の議案に対する賛否を公開しています。
(赤平市の議会のホームページにて)
<http://www.city.akabira.hokkaido.jp/>
- * 議会運営委員会の構成が正副議長を除く7名になりました。

日本共産党



木村 恵

児童福祉施設整備
計画について

【質問】年度内に策定する予定だつたと思ふが、どうなつているのか伺う。

【質問】昨年待機児童が発生したことを念頭に、主に認定結果を基に、今年度中結果を協議しに、建設場所の認定を協議する予定だ。

【質問】建物の建設場所を伺う。

【質問】現在予定された建物の建設場所等を検討したが複合化は難しいと考えている。

【質問】現在予定された建物の建設場所を検討し可能な場所を検討していきたい。

【質問】必要な人員を配置して行かなけれどどこか伺う。

第5次総合計画と総合戦略について

【質問】これから赤平のあり方について優先順位をどう考えるか。

【質問】これまでの赤平の問題をどうの現場の保育士には工夫など対応してもう必要があるが、早急な対応がいる。応募条件の緩和など今後も対応したい。

夢現会



竹村恵一

【質問】「人と農地との基盤整備、環境改善などの遊休化の未然防護農地の課題」を一體的に解決する取り組みを行っていく。

【質問】地域包括施設に取り組み、「事業者と地元の連携による農業振興の問題」をどのように解決していくか。

高齢者の生活環境について

【質問】店舗の閉鎖や商店街の空洞化、商店街振興の問題をどうの現場の保育士には工夫など対応してもう必要があるが、早急な対応がいる。応募条件の緩和など今後も対応したい。

【質問】地域包括施設に取り組み、「事業者と地元の連携による農業振興の問題」をどのように解決していくか。

予算審査特別委員会=各会派・諸派からの総括質疑

若山 武信 (民主クラブ)

市長の出張回数と旅費について

【質疑】平成30年度の市長の旅費予算は205万5千円。因みに29年度の実績を調査すると66回の出張で162万円、必要ないと思われる件名が随所に見られる。出張回数が多いと随行者の旅費もかさむことになる。旅費の節約についての考え方を伺う。

【答弁】出張については必要なものと判断したものに出向いている。今後においても、ご指摘や誤解を招くことがないよう、内容も精査した上で効果的なものとなるよう努めて参りたいと考えている。



炭鉱遺産に関する出張旅費について

【質疑】この度の予算審査特別委員会にて炭鉱遺産に関し、日本遺産認定申請への旅費61万3千円、文化財認定申請への旅費41万6千円が計上されている。市長は、お金に余裕ある時に炭鉱遺産に取り組むしながら、統合中学校や統合小学校建設に係る併せて60億円もの大型事業計画を打ち出しているとき、なぜ急いでこのような申請事業を図ろうとするのか伺いたい。

【答弁】2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向け、年間の訪日外国人旅行者数の増加を見込み、文化庁が日本遺産を2020年までに100件程度認定していく予定なので「北の産業革命・炭鉄港」をテーマとした空知管内8市2町が3つの振興局と連携し、来年1月の申請期限を見据えて取り組みを進めている。

統合小学校の基本設計提案について

【質疑】豊里小学校と赤間小学校の新築統合校舎建設構想にて、急速に3校統合論が浮上した茂尻小学校は今年の4月より市内1校の是非について保護者や地域と意見交換していくとのこと。豊里小学校は校舎新築を条件に統合を進めてきたのに対し、茂尻小学校は急速な話のため統合への強引な説得作業に過ぎないのではないか。

【答弁】茂尻地域の考えを尊重し、早急な3校統合ありきの計画ではない。しかし、茂尻小学校は推計を上回る急激な速さで児童数が減少しており統合が望ましく、統合準備委員会の協議の推移を尊重しながら早い段階で方向付けし、基本設計に反映させていく。

植村 真美 (夢現会)

新規就農者の受け皿の確保について

【質疑】市長の執行方針では、赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略の中で、今年度に向けても、経営面積の拡大や新規就農者の受け皿を確保するため、引き続き新たな農業法人の参入に対する支援を継続していくと掲げているが、具体的な考えを伺う。

【答弁】新規就農に結び付くよう、引き続き、「農業後継者サポート事業」や「北海道農業次世代人材投資事業」の活用、農業法人化への相談業務、更に、北海道農業担い手育成センターなど関係機関とも連携し支援していく。また、赤平市農業振興協議会へも新規就農対策についてのご意見など伺いながら、どのような施策が新規就農に結び付くかなど、協議していく。

保育所について

【質疑】今の計画では、認定こども園の検討に入るが、平成34年の小学校統合後となっているが、そこまでは到底待てる状態ではない。施設の面積条件の関連で若干の経費が掛かったとしても、まず先に、保育所を統合させることの検討をし、臨時的な対応で今年度中に一旦統合させて、子育て環境や今後協議をしていく予定の認定こども園を慎重に考えていくという状態を創り出していくのはいかがか。

【答弁】両保育所を合わせて約110名の子どもを入所させるためには、現在の文京保育所では面積が不足するため、増築しなければならない。

増築工事をするとした場合、子どもの昼寝時間の確保や屋外保育時の安全確保などのほか、保育所は夏休みなどの長期休暇が無いことから、特定の時期に工事を集中的に施工することができず、文京保育所を一時的に移転しなければならないが、移転先を確保することは難しいと考えており、現段階では、文京保育所1カ所に統合することは困難であると考える。しかし、保育所に関しては早急に協議をしていく。



文京保育所

五十嵐美知(公明党)

平成30年度予算案について

赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略の59事業のうち、35事業が盛り込まれ、第5次赤平市総合計画では継続事業の予算化に併せ社会福祉施設整備の補助金や統合小学校基本構想・基本設計委託料など盛り込まれ大型予算案になり、地域防災体制強化や児童生徒に係る、子ども塾の開設や漢字・算数・英語の検定料助成事業などにも予算化され一定の評価をするが、井戸水の生活世帯への補助金は期待もされていたので一世帯でも多く使っていただこう予算執行に万全を期してほしい。



子育て、認定こども園について

【質疑】4月1日から施行される赤平市子育て支援条例に、子供は一人一人が守り育てられるべき存在であり「赤平の宝」とあるが、子供を生み育てながら仕事ができる環境に保育所があり、その当初予算案は昨年度より200万円の減額になっているが、予算案を見積もる段階で保育士不足が懸念されていたのに、なぜ減額という考えになるのか。子育て支援条例に相反すると思うが考え方を伺う。

【答弁】ここ数年賃金の不用額が生じていて、実際の臨時職員数を勘案し当初予算に計上したが、決して子育て施策に関する認識を変更した訳ではなく、子供は「赤平の宝」を基本に施策を進めていく。

【質疑】保育士確保の本気度が伝わらないし、解決策は色々あるわけではない。2カ所の保育所では正職員、臨時職員の保育士確保に無理があり、責任ある対応として施設のあり方を抜本的に見直し進めなければ何も解決はしない。審査の中で、財政面では幼稚園を含む3施設を統合し、認定こども園の施設建設によって、ランニングコストが下がって経常経費を抑えながらであれば財政に影響はないということだが、平成30年度内に基本計画と設計までの工程を示してはどうか。

【答弁】認定こども園の設置は、建設場所・時期等について早急に保護者や関係団体の皆さんと協議を行い、一定程度の意見が集約された段階で方向性を示したい。



木村 恵(日本共産党)

保育環境の整備について

【質疑】保育所において臨時職員の負担が増えていることや、延長保育で時間外が常態化しているということが明らかになり、平成30年度予算では欠員の状態で人件費が計上されている。保育所の現状について市長はどういう認識を持ち、今後の保育環境の整備についてどうするつもりか伺う。

【答弁】現場の保育士は待機児童を出さないようにさまざま工夫しやっているが、改善して行かなければならぬと考えており、2カ所の保育所と幼稚園が一つになつたら保育士不足は解消されると考えている。

【質疑】現場では4月からの開所もできないかもしれないと言っている、一時預かり・延長保育をやめる決断はできぬいか。

【答弁】早速、保育所に行って話を聞くが、子育て支援をやめるつもりはない。できることをやっていく。

炭鉱遺産登録について

【質疑】炭鉱遺産の世界遺産登録等の研究に計上されている予算について、企画課と連携してという部分で上乗せがあり、前のめりな印象が伺える。市長は世界遺産、日本文化遺産を目指しているということは否定できないと思うが考え方を伺う。

【答弁】炭鉱遺産をはじめとする「炭鉄港ストーリー」は、世界遺産にも匹敵する価値を有しているという専門家の意見もあり、総合戦略にも位置づけられている。まずは日本遺産認定と文化財登録・指定を目指している。



【質疑】お金はかけない、無理はしないと言いながら目指していることは矛盾しないか。

【答弁】赤平市単独で目指しているものではない。道議会で知事も「皆で連携して頑張る」と答弁しているし、来年1月までしか申請の期間はないと考えている。

【質疑】2020年の東京オリンピックまでにということだと思うが、オリンピック後でも申請はできるのではないか。世界遺産に匹敵する価値がありながら、オリンピックまでにという条件にのらなければ登録されないのである。

【答弁】来年1月までしか申請の期間はないと言ったが、2020年が最後の申請になるとを考えている。

